

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係雑件（沖縄返還） 16

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43792">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43792</a>

未  
往  
信  
電

秘密表示(朱印)  
**極 秘**  
 無 期 限  
 部の内  
 号

館長  
 直  
 掛

部 数 指 示	発 信 用	執 務 用	備 考
主 信	1	1	2
付	5.04		
届			

発 送 日 昭和46年10月25日  
 処 理 日  
 発 信 タイプ 検 査

文 書 課 公 信 案 (分 類)

公 信 米北 第 1723号 公 信 昭和 昭和46年10月23日 日  
 番 号 日 付

大 臣	主 管	起 案 昭和46年10月22日
政 務 次 官	アメリカ局長	
事 務 次 官	参 事 官	
外務審議官	北米才一課長	
外務審議官		起 案 者 電話番号 Tave 2465
官 房 長		

協 議 先

受 信 者 北米才一課長 (2-2) 発 信 者 福田外務大臣

写 送 付 先 (希 望 送 付 日) 月 日

件 名 三 沖 縄 向 題 (協 定 47条 以 降 53条 倒 答 弁 振 り)

GA-2 23外務55 回覧番号

米北1 第 1723号  
 昭和46年10月23日

在 米 大 使 殿  
 外 務 大 臣

(件名)  
 三 沖 縄 向 題 (協 定 47条 以 降 53条 倒 答 弁 振 り)

引 用 公 ・ 電 信 日 付 ・ 番 号

10月22日 在米米長使館に於て、協  
 定47条、特に320a積算振付に於て、  
 上段2箇向が主たる場合、米外務省局  
 に於て答弁振付に於て、簡便に於て、  
 是前ハ逆則振付 別家 既等しと云

※ 付属録付  付属空便(行)  付属空便(DP)  付属船便(貨)  付属船便(郵)

(※印は文書課記入)

GA-2-1 外務省

機秘

2

1. 答休各答本心通知有子。

如左在付以 14年10月20日付 御所  
如向題を合へるに於て 取扱に以  
て付内留書あり也。

GA-4

外務省

写

極 秘  
無 期 限  
22  
部 内 号

米北1 第1723号  
昭和46年10月23日

在米大使殿

外務大臣

(件名)

沖縄問題 (協定7条に關する米側答弁概り)

引用公・電信  
日付・番号

10月22日 在米米長使館に於て、協  
定7条、特に320の積算根拠に關し、  
上院の質問が主たる場合、米外務省局  
に於て答弁概りのべき質問ありとす。  
是等之を證明概り 別添紙等に於て

※ 付属添付  付属空便 (行)  付属空便 (DP)  付属船便 (貨)  付属船便 (郵)

(※印は交番証記入)

GA-2-1

外務省

2

1. 基体各各本心通致了。

如左 本件は 山本大平の 経手  
 如何 題を 含ん ている 取扱 いた  
 十 年 内 留 存 あり たい。

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 平	総第 0301-204-001号
極秘	第 538号	昭和 年 月 日 時 分 秒 47.3.2 11:59
YYYY	大至急 (至急) 普通・LTF	発電係 北④

(※印内は電信課記入)

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 アメリカ局長 参 事 官 北米才一課長	主管局部課 (室) 名 北米才一課 北米才一課 起案 昭和 47 年 月 日 起案者 電話番号 古田 2488
--	---------------------------------	--

約 局 長 条約局長  
 条約課長 会計課長  
 総務室長

大使 臨時代理大使  
 在米半場 総領事 代理 代理  
 あて 外務大臣 発

電 在 大使 臨時代理大使  
 報 総領事 代理 あて

件名  
 沖繩返還協定枠米の対米支払

(限定配布)

1日 在京米大使館 ダイク 財務官

より 大蔵省 前田審議官 に対し、米側は 返

還協定枠米に いう 3億 8千万ドルの費用

支払いは ニュー・ヨークの FEDERAL RESERVE

(昭和四十七年改正)

漢

字 済

2

THE TREASURER OF THE UNITED STATES 名

儀口座之し左の旨通報越し左。由参考

迄。

(3)

GB-3

外務省

大政事外儀官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長  
儀総入電厚計

書文会啓給

調査長  
領移長

参企析調

参領旅査移

ア 参地中東  
長 北東西  
参北北保  
中南審  
吹 参西東洋  
長 西東

近 参書近ア  
長 次総経国資  
経 源

長 参貿統  
経 参政技一理  
協 国  
長 条 参案協規

長 参政経科  
国

長 軍社専  
情 参道内外  
長 文 参一二

社 息

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

25

総番号(TA) 6465- 主管  
72年3月31日14時15分 津 總 発 粗/  
72年3月31日15時23分 本 省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

協定第6条第2項移転財産の確認

第190号 略

貴電米北/第84号に関し

30日の来ちゆうの大蔵省担当官とともに、山本より復帰  
準備委米代表事務所フランス補さ官に対し本件に関する  
申し入れを行なわしめたところ、同補さ官は検討方を約し  
た。

(了)

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

25

電信写

大政事外外儀官  
務務典房  
次次典房  
臣官官審審長長  
儀総人電厚計  
書文会營給

総番号(TA) 7376  
72年04月06日18時00分 沖 綴 発  
72年04月06日18時35分 本省 着 米北

外務大臣殿 高橋大使 臨時代理大使 総領事 代理

協定第6条第2項移転財産の確認

第208号 略

貴電米北/第84号及び往電第/90号に関し

1. 先般当地に出張せる東事務官が持参せるリストは一部が英訳されていない他、英文のものについても数年前米側から提供されたものをそのまま利用しているとして米側は到ていこれにより関係方面に確認作業を依頼し得ない旨を述べたので、同事務官は当地滞在を延期し、関係機関の協力を得てリストの英訳ならびに改訂を行なった。

2. その後米側と確認作業の結果の確認の要否ならびに形式に関し見解の相違があつたが、東京において本省と在京米大使館の間で調整が行なわれた結果、米側としては特定の資産を除き現地において実質的に確認作業に協力することには異存ない旨を申し越した。

3. よつて、6日山本よりクラーク渉外局長に対し、上記改訂リストを手交し、右リスト内容の確認方を依頼したところ、クラークは協力を約したが、米民政府としては正式文書による回答は行なわない旨及び本件作業のためには全軍第2の電報もあり、相当の日時を要する旨を述べた。(3)

外務省

調査長 参企析調  
領移長 参領旅査移

参地中東  
北東西  
参北北保  
参一  
参西東洋  
西東

近ア長 参書近ア  
経 次総経国資源

長 参貿統国  
経協長 参政技一理  
系 国企二

参条協規  
参政経科

長 参道内外  
文 参一二

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

25

電信写

大政事外外儀官  
務務典房  
次次典房  
臣官官審審長長  
儀総人電厚計  
書文会營給

総番号(TA) 7376  
72年04月06日18時00分 沖 綴 発  
72年04月06日18時35分 本省 着 米北

外務大臣殿 高橋大使 臨時代理大使 総領事 代理

協定第6条第2項移転財産の確認

第208号 略

貴電米北/第84号及び往電第/90号に関し

1. 先般当地に出張せる東事務官が持参せるリストは一部が英訳されていない他、英文のものについても数年前米側から提供されたものをそのまま利用しているとして米側は到ていこれにより関係方面に確認作業を依頼し得ない旨を述べたので、同事務官は当地滞在を延期し、関係機関の協力を得てリストの英訳ならびに改訂を行なった。

2. その後米側と確認作業の結果の確認の要否ならびに形式に関し見解の相違があつたが、東京において本省と在京米大使館の間で調整が行なわれた結果、米側としては特定の資産を除き現地において実質的に確認作業に協力することには異存ない旨を申し越した。

3. よつて、6日山本よりクラーク渉外局長に対し、上記改訂リストを手交し、右リスト内容の確認方を依頼したところ、クラークは協力を約したが、米民政府としては正式文書による回答は行なわない旨及び本件作業のためには全軍第2の電報もあり、相当の日時を要する旨を述べた。(3)

外務省

調査長 参企析調  
領移長 参領旅査移

参地中東  
北東西  
参北北保  
参一  
参西東洋  
西東

近ア長 参書近ア  
経 次総経国資源

長 参貿統国  
経協長 参政技一理  
系 国企二

参条協規  
参政経科

長 参道内外  
文 参一二